

経営評価シート

1. 団体の基本情報							
団体名	(公財) 福岡県女性財団			設立年月日	平成8年4月1日		
所在地	春日市原町3丁目1番地の7						
出資総額	200,000千円		主な出資者	出資額	出資割合		
県出資額	200,000千円			千円	%		
県出資割合	100.0%			千円	%		
設立目的等	女性問題に関する県民の自主的で創造的な活動を支援し、相互の連携を図ることにより、男女の自立と対等な社会参画の推進に寄与することを目的とし、国及び県の男女共同参画に関する法律、条例、計画に規定される理念や施策の実現、推進に資する事業を行う。						
主要事業の内容							
事業名	事業内容						
情報・調査事業	ライブラリー（図書資料室）の図書の購入、地域における男女共同参画等の情報の収集、情報誌「あすばるーん」等の作成発行、ホームページによる情報提供、女性ロールモデルの発掘・紹介、女性の社会参画のための調査・研究						
相談支援事業	電話、メール、面接による性別に関わらない総合的な相談の実施、法律やDV等に関する専門的な相談の実施、県内の女性関連の相談業務に関わる機関・相談員を対象とする連携会議、研修等の運営						
人材育成事業	男女共同参画社会づくりに先導的に取り組む人材養成講座、指導的地位で実践的に活躍する女性の人材育成講座、女性の活躍推進に向けた企業内研修の支援を実施						
社会参画環境整備事業	県民活動の促進・交流を図るため県民参加型の「あすばる男女共同参画フォーラム（※）」の開催 ※令和6年度から「福岡県ジェンダー平等フォーラム」に名称変更						
事業実績に関する情報	単位	R2	R3	R4	R5	R6	備考
来館者数	人	42,577	39,169	62,043	70,261	74,593	
図書蔵書数	冊	37,964	38,394	38,654	38,934	39,169	
研修養成講座参加者数	人	2,426	3,731	3,548	2,817	2,759	
あすばる男女共同参画フォーラム（福岡県ジェンダー平等フォーラム）参加者数	人	4,548	4,651	6,443	7,347	12,913	
DV相談受案件数	件	574	553	461	481	317	
2. 団体の組織・人員情報							
代表者名	代表理事	甲木 正子		区分	非常勤		
常勤役員名	常務理事	野田 律子		区分	県OB センター長兼務		
		R2.4.1	R3.4.1	R4.4.1	R5.4.1	R6.4.1	R7.4.1
常勤役員数（※）		1名	1名	1名	1名	1名	1名
職員数	常勤（正規）	5名	5名	5名	5名	5名	5名
	うち プロパー	-	-	-	-	-	-
	嘱託（常勤・非常勤）等・臨時	16名	17名	15名	16名	13名	13名
	合計	21名	22名	20名	21名	18名	18名
増減の主な理由							
R3年4月：嘱託（非常勤）職員1名採用。 R4年3月：嘱託職員任期満了による退職4名（常勤3、非常勤1）、4月に嘱託職員2名採用（常勤1、非常勤1）により2名減。その後年度中途採用により1名増。 R5年10月：中途採用により1名増（非常勤嘱託）。 R6年4月：電話相談員（非常勤嘱託）の職の廃止により4名減。							
3. 県関与の状況							
人的支援（常勤役員再掲）（※）	R2.4.1	R3.4.1	R4.4.1	R5.4.1	R6.4.1	R7.4.1	
県派遣	5名	5名	5名	5名	5名	5名	
県OB	-	-	-	1名	1名	1名	
財政支出	R2.4.1	R3.4.1	R4.4.1	R5.4.1	R6.4.1	備考	
出資金	-	-	-	-	-	-	
貸付金	-	-	-	-	-	-	
補助・負担金	-	-	-	-	-	-	
委託料	78,727千円	81,867千円	83,010千円	82,662千円	87,288千円		
4-①. 中期経営計画における改善に向けた取り組みの方向性（R4～R8）							
<p>困難な状況にある相談者に寄り添った相談対応や男女共同参画に関する情報発信を積極的に行うとともに、男女共同参画の視点から、地域の様々な課題を解決するための実践的活動の場として、また、地域のリーダーの育成や男女共同参画のための意識改革・人材ネットワークの拠点として、センター機能が十分発揮できるよう層取組を進めていく。</p> <p>財務会計については、引き続きコスト削減を行い、自主財源の確保に努める。</p> <p>内部管理については、取組効果を最大限に発揮できるよう、業務に携わる職員の専門性や資質の向上を図るとともに、有事に備えた管理運営体制の充実を図る。</p>							

※役員改選を理由とする年度当初の一時的な減は反映していない。

4-②. 中期経営計画における改善目標の達成状況										
改善目標の区分(視点)	目標達成に向けた具体的な取組、戦略等	指標	単 位	上段：計画 下段：実績						改善目標区分の達成に向けた2024年度(R6)の取組状況
				2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	
事業活動・住民サービス (計画性 公益性 等)	①様々な推進団体と連携・協働し事業を推進するとともに、自治体職員の男女共同参画についての理解を深める	推進団体との協働事業数	件		14				26	・自治体職員のおすばる事業参加については、行政職員向けセミナーにおいてオンライン開催を実施するなど参加しやすいよう努めたこともあり、前年度より参加者数が増加した。 ・ホームページのアクセス数が昨年度から減少したが、これはホームページ内のデータを整理したことや、SNSから情報を得る者が増えたことによるものと思われる。ホームページとSNSのそれぞれの特性を活かした情報の提供に努めていく。 ・女性リーダーの育成については、地域や政治分野におけるリーダーを育成する事業を実施した。 ・相談件数が減少しているが、これは令和6年4月から女性相談支援センターに新たに「女性サポートホットライン」が設置されたことによるもの。
		自治体職員のおすばる事業参加者数	人		1,120				1,400	
	②新しく開設したおすばるプラス等を通じて、推進団体の取組に役立つ情報を提供する	ホームページアクセス数	件		181,000				185,000	
		おすばるトピックス・統計ポータルなどへの情報掲載件数	件		72				100	
	③県内各地で活躍するリーダー人材を育成し、修了後には講師派遣などで活躍する機会を創出する	女性リーダー人材育成数(育成事業修了者累計数)	人		1,490				2,370	
		女性相談事業を通じて、困難を抱える女性のニーズに対応し、自立支援や専門家への紹介を促進する	相談件数	件		7,200				
財務会計 (経済性 効率性)	①資産運用益の確保等により安定した財政基盤を確保する	正味財産比率	%		96.5				96.5	・基本財産の見直しについては、令和8年度の返戻に向けて、今後県と協議を進めていく。
					96.9	96.6	96.6	96.7		
	②事業を効率的に実施し、自主財源の増加を図る	県財政支出率	%		90.3				90.3	
					88.2	88.3	88.3	88.7		
③基本財産の見直し	県出資相当額の返戻	-		検討				実施		
内部管理 (健全性 等)	①業務に携わる職員の資質向上を図る	研修の実施・派遣	回		80				80	・時間的制約も少ないオンライン研修も含め、職員の参加を促進し、資質向上を図った。 ・災害時においても適切な業務執行を確保するため、事業継続計画(BCP)を作成している。 ・ワーク・ライフ・バランスの向上に資するため、勤務間インターバル制度を導入した。
					82	80	69	67		
	②有事に備えた管理運営体制の充実を図る。	事業継続計画(BCP)の作成	-		検討				作成	
		ワーク・ライフ・バランスの向上に資する制度の導入	-		検討				実施	
達成状況(まとめ)										
<p>福岡県ジェンダー平等フォーラムや各種セミナーなど様々な事業において、より参加しやすいオンライン開催も併用して多くの参加を得た。さらにオンデマンド配信(期間限定での再配信)などオンラインならではの手法も引き続き実施し、積極的な啓発を行った。相談業務においては、女性相談支援センターに「女性サポートホットライン」が設置されたことにより総件数は減少したが、より専門的な内容について相談を受ける専門相談は増加しており、多様化する相談ニーズに応えている。</p>										

5. 経営状況（公益法人）							
項目	単位	R2	R3	R4	R5	R6	
【貸借対照表】							
資産合計	千円	218,627	211,219	211,674	211,392	211,045	
うち金銭債権	千円	474	747	3,704	2,636	754	
うち特定資産	千円	-	-	-	-	-	
負債合計	千円	13,720	6,600	7,290	7,228	6,933	
うち借入金額	千円	-	-	-	-	-	
うち県からの借入金額	千円	-	-	-	-	-	
正味財産合計	千円	204,907	204,619	204,383	204,164	204,112	
県債務保証額又は損失補償額	千円	-	-	-	-	-	
県損失補償債務残高	千円	-	-	-	-	-	
団体債務保証額	千円	-	-	-	-	-	
【正味財産増減計算書】 Sheet4 法人全体より転記							
経常収益 A	千円	89,464	92,820	93,979	93,617	98,404	
うち県財政支出額 B	千円	78,727	81,867	83,010	82,662	87,288	
内訳：補助金・負担金	千円	-	-	-	-	-	
内訳：委託料	千円	78,727	81,867	83,010	82,662	87,288	
うち最も多額な項目	項目名	受託料収益	受託料収益	受託料収益	受託料収益	受託料収益	
	千円	5,961	6,230	6,244	6,221	6,358	
経常費用 C	千円	90,282	93,109	94,214	93,837	98,456	
うち人件費総額 D	千円	62,106	65,720	63,601	62,259	65,729	
評価損益等合計額 E	千円	-	-	-	-	-	
経常増減額 F=(A-C+E)	千円	△ 818	△ 289	△ 235	△ 220	△ 52	
経常外損益 G	千円	△ 0	△ 0	△ 0	-	△ 0	
法人税、住民税及び事業税 I	千円	-	-	-	-	-	
当期一般正味財産増減額 J=(F+G)-I	千円	△ 818	△ 289	△ 235	△ 220	△ 52	
当期指定正味財産増減額 K	千円	-	-	-	-	-	
正味財産増減額に含まれる県財政支出額 L	千円	78,727	81,867	83,010	82,662	87,288	
【財務指標】							
正味財産比率	%	93.7	96.9	96.6	96.6	96.7	
県財政支出率 (=B/A)	%	88.0	88.2	88.3	88.3	88.7	
人件費率 (=D/A)	%	69.4	70.8	67.7	66.5	66.8	
収益事業比率	%	-	-	-	-	-	
受託事業外注費比率	%	3.9	3.9	5.6	5.7	4.9	
【団体毎の経営評価指標】							
来館者数	人	42,577	39,169	62,043	70,261	74,593	
研修養成講座等参加者数	人	2,426	3,731	3,548	2,817	2,759	
経常費用計	千円	90,282	93,109	94,214	93,837	98,456	
【常勤役職員の報酬・給与に関する状況（R6年度）】							
常勤役員平均年齢	62.0歳	常勤役員平均年収	8,526千円	常勤職員平均年齢	53.8歳	常勤職員平均年収	8,018千円
【経営状況に関する各数値、指標の増減理由】							
当期一般正味財産増減額は、固定資産の減価償却分。							
6. 団体（経営責任者）の自己点検評価							
<ul style="list-style-type: none"> 当財団では平成28年度に、事業運営している福岡県男女共同参画センター「あすばる」における中長期ビジョン「あすばる2020」を策定。当該ビジョンを踏まえて、参加交流機能、人材育成機能、研修養成機能、相談支援機能の充実に取り組んでいる。令和6年度も多く事業を対面及びオンラインにより実施するとともに、オンデマンド配信も併用しながら積極的に事業を展開。「福岡県ジェンダー平等フォーラム2024」においては、昨年度より参加者がおよそ5,000名程度増加するなど、引き続き男女共同参画推進の取組を進めている。 相談業務については、メール相談や法律相談、男性のための電話相談などの実施により多様化する相談ニーズに応えている。 							
7. 外部専門家の意見							
<ul style="list-style-type: none"> 自治体職員のあすばる事業参加者数について、オンライン開催を実施するなどにより、前年度より増加しているものの、中期経営目標の半数以下となっている。中期経営目標を達成するために引き続き周知活動等を行っていくことが求められる。 福岡県ジェンダー平等フォーラムや各種セミナーの開催について、参加者は増加傾向にあるが、今後さらに参加者を増加させるためには、多様化するニーズに対応することが求められる。そのため、引き続き人材の確保や育成を進めることが望まれる。 							
8. 経営評価委員会による経営評価結果							
<ul style="list-style-type: none"> 「福岡県ジェンダー平等フォーラム」や各種セミナー等の多くの事業を実施し、積極的な啓発を行っている。事業実施に当たっては、オンライン開催やオンデマンド配信などの手法も活用し、誰もが参加しやすい環境づくりに努め、男女共同参画社会の実現に向けて継続的な働きを進めている。 相談支援事業については、女性相談支援センターに「女性サポートホットライン」が設置されたことにより総件数は減少したものの、専門相談については増加しており、財団としての強みを活かし、多様化する相談ニーズに応えている。 引き続き、中長期計画の目標達成に向け、福岡県男女共同参画計画や福岡県総合計画など、県の施策の方向性に沿った具体的な事業展開を進められたい。 							

（注）表示単位未満四捨五入の関係で、数式による算出値と表示が一致しない場合がある。

5-②. 経営状況(内訳表)								
項目	単位	R2	R3	R4	R5	R6		
【正味財産増減計算書】								
法人全体 ① ③	経常収益 A	千円	89,464	92,820	93,979	93,617	98,404	
	うち県財政支出額 B	千円	78,727	81,867	83,010	82,662	87,288	
	内訳：補助金・負担金	千円	-	-	-	-	-	
	内訳：委託料	千円	78,727	81,867	83,010	82,662	87,288	
	うち最も多額な項目	項目名		受託料収益	受託料収益	受託料収益	受託料収益	受託料収益
		千円	5,961	6,230	6,244	6,221	6,358	
	経常費用 C	千円	90,282	93,109	94,214	93,837	98,456	
	うち人件費総額 D	千円	62,106	65,720	63,601	62,259	65,729	
	評価損益等合計額 E	千円	-	-	-	-	-	
	経常増減額 F=(A-C+E)	千円	△ 818	△ 289	△ 235	△ 220	△ 52	
	経常外損益 G	千円	△ 0	△ 0	△ 0	-	△ 0	
	法人税、住民税及び事業税 I	千円	-	-	-	-	-	
	当期一般正味財産増減額 J=(F+G)-I	千円	△ 818	△ 289	△ 235	△ 220	△ 52	
	当期指定正味財産増減額 K	千円	-	-	-	-	-	
正味財産増減額に含まれる県財政支出額 L	千円	78,727	81,867	83,010	82,662	87,288		
公益目的 事業会計①	経常収益 A①	千円	78,812	81,898	83,042	82,704	87,354	
	うち県財政支出額 B①	千円	78,727	81,867	83,010	82,662	87,288	
	内訳：補助金・負担金	千円	-	-	-	-	-	
	内訳：委託料	千円	78,727	81,867	83,010	82,662	87,288	
	うち最も多額な項目	項目名		受講料収益	雑収益	雑収益	雑収益	雑収益
		千円	60	30	28	41	66	
	経常費用 C①	千円	82,034	84,302	85,417	85,113	88,715	
	うち人件費総額 D①	千円	55,538	59,308	56,975	56,129	58,885	
	評価損益等合計額 E①	千円	-	-	-	-	-	
	経常増減額 F①=(A①-C①+E①)	千円	△ 3,222	△ 2,404	△ 2,375	△ 2,409	△ 1,361	
	経常外損益 G①	千円	△ 0	△ 0	△ 0	-	△ 0	
	他会計振替額 H①	千円	2,488	2,139	2,164	2,213	1,309	
	法人税、住民税及び事業税 I①	千円	-	-	-	-	-	
	当期一般正味財産増減額 J①=(F①+G①+H①)-I①	千円	△ 734	△ 265	△ 211	△ 195	△ 52	
当期指定正味財産増減額 K①	千円	-	-	-	-	-		
正味財産増減額に含まれる県財政支出額 L①	千円	78,727	81,867	83,010	82,662	87,288		
収益事業 等会計②	経常収益 A②	千円	/	/	/	/	/	
	うち県財政支出額 B②	千円	/	/	/	/	/	
	内訳：補助金・負担金	千円	/	/	/	/	/	
	内訳：委託料	千円	/	/	/	/	/	
	うち最も多額な項目	項目名		/	/	/	/	/
		千円	/	/	/	/	/	
	経常費用 C②	千円	/	/	/	/	/	
	うち人件費総額 D②	千円	/	/	/	/	/	
	評価損益等合計額 E②	千円	/	/	/	/	/	
	経常増減額 F②=(A②-C②+E②)	千円	/	/	/	/	/	
	経常外損益 G②	千円	/	/	/	/	/	
	他会計振替額 H②	千円	/	/	/	/	/	
	法人税、住民税及び事業税 I②	千円	/	/	/	/	/	
	当期一般正味財産増減額 J②=(F②+G②+H②)-I②	千円	/	/	/	/	/	
当期指定正味財産増減額 K②	千円	/	/	/	/	/		
正味財産増減額に含まれる県財政支出額 L②	千円	/	/	/	/	/		
法人会計③	経常収益 A③	千円	10,653	10,922	10,936	10,913	11,050	
	うち県財政支出額 B③	千円	-	-	-	-	-	
	内訳：補助金・負担金	千円	-	-	-	-	-	
	内訳：委託料	千円	-	-	-	-	-	
	うち最も多額な項目	項目名		受託料収益	受託料収益	受託料収益	受託料収益	受託料収益
		千円	5,961	6,230	6,244	6,221	6,358	
	経常費用 C③	千円	8,248	8,807	8,797	8,724	9,741	
	うち人件費総額 D③	千円	6,568	6,412	6,626	6,130	6,844	
	評価損益等合計額 E③	千円	-	-	-	-	-	
	経常増減額 F③=(A③-C③+E③)	千円	2,405	2,115	2,140	2,189	1,309	
	経常外損益 G③	千円	-	-	-	-	△ 0	
	他会計振替額 H③	千円	△ 2,488	△ 2,139	△ 2,164	△ 2,213	△ 1,309	
	法人税、住民税及び事業税 I③	千円	-	-	-	-	-	
	当期一般正味財産増減額 J③=(F③+G③+H③)-I③	千円	△ 83	△ 24	△ 24	△ 24	△ 0	
当期指定正味財産増減額 K③	千円	-	-	-	-	-		
正味財産増減額に含まれる県財政支出額 L③	千円	-	-	-	-	-		

(注) 表示単位未満四捨五入の関係で、数式による算出値と表示が一致しない場合がある。